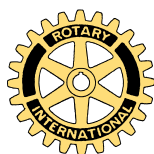


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2025～2026年度 国際ロータリー フランチャイスク・アレックス 会長テーマ

UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう

創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 近 藤 純 子
幹事 加 藤 大 志 朗
会報委員長 杉 浦 守 康

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3315回例会プログラム

[当年度=35回目；当月=2週目]

2026年（令和8年）6月8日(月)

1. 例会……〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食 事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点 鐘 ……〈会 長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 会長挨拶並びに会長報告
7. 幹事報告
8. 副幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(6/15) ……
休 会（定款第7条第1節（d））
(6/22) ……クラブ協議会
現理事挨拶

2. クラブ協議会……〈司会：幹事〉

- 13:00 1. 次年度方針の発表 ……次年度会長
2. 次年度委員会別事業計画の検討 ……次年度幹事

13. 点 鐘……〈会 長〉
14. 閉会宣言

13:30 15. 散 会

出席

会員総数 96名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠 席 5名 出席率 94.25%
前々回（5/25）の修正出席率 100%

幹 事 報 告

- 1) 今月のロータリーレートは、1 \$159円になります。
2) 本日、例会終了後に、当年度及び次年度合同理事・役員・委員長会議を大会議室にて開催致します。関係の会員はご出席をお願い致します。

副 幹 事 報 告

- 1) 例会中に次年度の手帳原稿を、順にまわしますのでご覧頂き、訂正のない方は写真の下に OK を記入して頂き、訂正のある方は訂正内容の記入をお願い致します。

会 長 あ い さ つ

近藤 純子



こんにちは。10年前、私が刈谷ロータリークラブに入会させて頂いた頃、親睦活動委員会に配属されました。当時の私は、自分の役割を勝手に「こんにちは係」と思っておりましたが、例会の受付係をしていました。

ある日、当時在籍していた坂会員から、こんな質問を受けました。「四つのテストは、なぜ英語では複数形ではなく単数形なのかね？」と。当時の私は、その意味が分からず、お答えできませんでした。後で調べて答え合わせをしようと思いながら、そのままになってしまい、坂会員も退会され、結局このお話をする機会を持てませんでした。

そこで本日は、改めてロータリーの倫理的な羅針盤ともいえる「四つのテスト」について、振り返ってみたい

と思います。

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

この「四つのテスト」は、英語では The Four-Way Test と表記されます。“Tests”と複数形ではなく、“Test”と単数形です。

これは、4つの別々のテストという意味ではなく、一つの物事を4つの方向から見て判断する、一つの総合的なテストという意味だそうです。たとえば、「真実」であっても「公平」でなければ十分ではありませんし、「公平」であっても「好意や友情」を損なうのであれば、望ましい判断とは言えません。4つすべてを通して初めて、私たちの言動が問われるということなのだと思います。

実はこの四つのテストは、単なる理想論ではなく、厳しい経営の現場から生まれたものでした。

1932年、アメリカが世界恐慌の真っただ中だった頃、シカゴ・ロータリークラブの会員だったハーバート・J・テラー氏が、倒産寸前の調理器具メーカー「クラブ・アルミニウム社」の再建を任されました。

巨額の負債を抱え、先の見えない厳しい状況の中で、彼は「会社を立て直すには、まず正しい行動基準が必要だ」と考え、この問いを作りました。最初は7つの問いだったそうです。

会社では、誇大広告をやめ、競合他社を悪く言うことをやめ、たとえ利益が見込めても既存の取引先に不公平となる商談は断るなど、この四つのテストに照らして意思決定を重ねました。その結果、会社は信頼を取り戻し、見事に再建を果たしました。

この実績が評価され、1943年に国際ロータリーに採用され、今日まで私たちの大切な行動指針となっています。

時代が変わっても、人として、また職業人として、迷った時に立ち返るべき、とてもシンプルで力強い指針だと感じます。

私自身、日々の経営判断の中でも、まったく同じではありませんが、似たような軸を大切にしています。ロータリーに入会させていただいたことで、改めて大切な価値観を学ばせて頂いていると感じております。これからも、この精神を大切にしていきたいと思います。

本日もどうぞよろしくお願い致します。

次年度方針の発表

会長所信および運営方針

2026～27年度会長 伊藤 節夫



2026-27年度刈谷ロータリークラブ会長第73代目を拝命致しました伊藤節夫です。

このような大役を頂き大変光栄に存じますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

私が経営しています「ジュエリー伊藤」は名鉄刈谷市駅前の商店街で昭和36年1961に創業し、地域の方々に親しまれてきました。宝飾品という仕事を通じて「人と人の繋がり」「大切な瞬間を飾ること」「お客様とのお縁を大切に」して来ました。

その思いは、ロータリーが掲げる「奉仕の理想」と通じ合うところがあると感じています。

ロータリーへの奉仕、仕事への誠実さ、この二つを大切に一年間努めてまいります。

さて刈谷ロータリークラブは、昭和29年（1954年）に全国で118番目、2760地区で8番目のロータリークラブとして設立され長きにわたり「伝統と格式」を大切にしながら、地域社会に根ざした活動を積み重ねて来ています。

これまで築き上げてこられた諸先輩方のご尽力に深く敬意と感謝を申し上げます。

本年度は、時代の変化を柔軟に受け止めながらも、ロータリーの基本理念を大切に、会員同士のつながりをさらに深めてまいります。

そして、地域に愛されるクラブとして、笑顔あふれる例会づくりと、意義ある奉仕活動に取り組んでまいります。

また、一人ひとりの個性や多様性を尊重し、それぞれが輝けるクラブ運営を目指してまいります。

「参加して良かった」「関わって良かった」と感じて頂けるような、温かく魅力あるクラブづくりに努めてまいります。

昨年度中止になりましたWFF（ワールドフードフェスタ）の活動がRDF（ロータリードネーションフェスタ）に変更になり来年5月に開催予定です。

また、来年3月にはRYLAセミナーも復活します。

理事 役員 委員長を努めてくださる方々のお力を借りながらクラブ運営ができますように努めてまいります。

どうか会員の皆様のご指導ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に今年度のテーマ

「元気に動き 仲良くつながり 楽しく奉仕し
高潔に未来を拓く」

■重点方針

1. 魅力ある例会づくりの推進

会員が参加したくなる、学びと交流のある例会を企画し、活気あるクラブ運営を目指します。

2. 会員増強の強化

新たな仲間の入会促進とともに、既存会員が長く安心して活動できる環境づくりに努めます。

3. 地域社会への奉仕活動の充実

地域のニーズを的確に捉え、実効性のある奉仕活動を展開します。

4. 多様性と個性の尊重

年齢・性別・職業などの違いを活かし、多様な視点を取り入れたクラブづくりを推進します。

5. 広報活動の強化

活動内容を積極的にマスメディアに発信し、クラブの認知向上と公共イメージアップを図ります。

6. 次世代への継承と育成

若い世代の育成 参加機会の創出に努め、未来につながるクラブ運営を行います。

このような思いで一年間努めてまいります。

改めまして会員のご協力ご支援をお願いしまして次年度会長の挨拶とします。



当年度および次年度合同理事・役員・委員長会議次第

- I 会長挨拶 〈会 長〉
- II 次年度会長挨拶 〈次年度会長〉
- III 当年度議題
 - 1. 年次報告書について 〈幹 事〉
 - 2. その他
- IV 次年度議題
 - 1. 7月のプログラム（案）について
 - 〈次年度クラブ奉仕委員長〉
 - 〈次年度プログラム委員長〉
 - 2. 報道関係者との懇談会について
 - 〈次年度公共イメージ向上委員長〉
 - 3. その他
- V 当年度事業報告及び次年度引継ぎ
- VI 会場監督の所見 〈会場監督〉

